

令和7年度 西九州大学一般選抜「I期」入学試験問題（日本史探究）

I 次の(A)～(C)の各文の空欄(1)～(9)に入る適語を語群から選び、記号で答えよ。また、下線部についての問いに答えよ。

- (A) 大陸から稲作が伝わると、九州北部で水田による米づくりがはじまり、北海道や(1)を除く日本列島に広がった。食料採取から食糧生産の段階に進み、こうした変化の中で、小国どうしが余剰生産物をめぐって戦うようになった。吉野ヶ里遺跡に代表されるような(2)といった、防御的な集落が営まれた。中国の歴史書には、小国の王たちが倭国内での立場を高めるため、中国に使いを送ったことがうかがえる記述がある。
- (B) 国際的緊張が高まる中、(3)は蘇我蝦夷・蘇我入鹿を滅ぼし、大化改新と呼ばれる諸改革をおこなった。唐と(4)が結んで百濟を滅ぼすと、日本は百濟復興のため大軍を派遣したが、白村江の戦いで大敗した。その後、国内の防衛策を講じるとともに、(5)に勝利して即位した天武天皇により、天皇を中心とした中央集権国家の形成が進んだ。
- (C) 奈良時代には律令による国家運営がおこなわれ、大宝律令の制定に携わった(6)の登場以降、藤原氏が政界に大きな影響力を持った。一方、農民たちの中には困窮する者もあり、他国に(7)したり、逃亡したりする者が増加した。政府は何度も土地政策を改定し、税の増収をはかった。平安時代には、律令の再建策がとられるものの、戸籍が機能しておらず、(8)天皇の時代に口分田が班給されたのを最後に、班田がおこなわれた記録は残っていない。平安時代の中期以降、開墾領主たちは受領による税の収奪に対抗するため、中央の有力者に土地を(9)するようになった。こうした背景から各地に荘園が広がることとなった。

《語群》

| | | | | | | |
|----------|----------|----------|---------|----------|----------|-------|
| ア. 壬申の乱 | イ. 保元の乱 | ウ. 東北地方 | エ. 南西諸島 | オ. 大海人皇子 | カ. 藤原不比等 | |
| キ. 山背大兄王 | ク. 中大兄皇子 | ケ. 藤原仲麻呂 | コ. 渤海 | サ. 新羅 | シ. 知行 | ス. 成功 |
| セ. 元明 | ソ. 環濠集落 | タ. 高地性集落 | チ. 醍醐 | ツ. 運脚 | テ. 浮浪 | ト. 寄進 |

問1 下線部①について、弥生時代早期（縄文時代晩期とする説もある）の水田跡として代表的な福岡県の遺跡をア～エの中から一つ選び、記号で答えよ。

ア. 砂沢遺跡 イ. 菜畑遺跡 ウ. 板付遺跡 エ. 登呂遺跡

問2 下線部②に関連して述べた文 a・b の正誤の組み合わせとして正しいものをア～エの中から一つ選び、記号で答えよ。

- a 縄文時代には矢の先に骨角器をとりつけた弓矢を用いて、イノシシなどの狩猟をおこなった。
 b 弥生時代の稲作では石包丁による穂首刈りをおこない、収穫物は高床倉庫などに保存された。
 ア. a - 正 b - 正 イ. a - 正 b - 誤 ウ. a - 誤 b - 正 エ. a - 誤 b - 誤

問3 下線部③について、次の史料は「倭」の小国が中国の皇帝に朝貢したことに関する記事である。二重下線部の印は江戸時代に志賀島で発見された金印だと考えられるが、その印には何と記されていたか答えよ。

建武中元二年、倭の奴国、貢を奉じて朝賀す。使人自ら大夫と称す。倭国の極南界なり。光武、賜ふに印綬を以てす・・・

問4 下線部④について、この時代に置かれ、高向玄理らが任じられた職をア～エの中から一つ選び、記号で答えよ。

ア. 大納言 イ. 蔵人頭 ウ. 国博士 エ. 内臣

問5 下線部⑤について、白村江の戦いの後に築かれた、全長約1kmにわたり堀と土塁が続く防衛施設をア～エの中から一つ選び、記号で答えよ。

ア. 大野城 イ. 水城 ウ. 烽 エ. 朝鮮式山城

問6 下線部⑥について述べた文として正しいものをア～エの中から一つ選び、記号で答えよ。

- ア. 冠位十二階を制定した。
- イ. 飛鳥浄御原令を施行した。
- ウ. 和同開珎を鑄造した。
- エ. 八色の姓を制定した。

問7 下線部⑦について、中央官制の八省の中で、文官の人事や大学管理を担う省をア～エの中から一つ選び、記号で答えよ。

- ア. 式部省 イ. 治部省 ウ. 宮内省 エ. 中務省

問8 下線部⑧について、土地政策の推移として正しいものをア～カの中から一つ選び、記号で答えよ。

- ア. 三世一身法 → 百万町歩開墾計画 → 墾田永年私財法
- イ. 三世一身法 → 墾田永年私財法 → 百万町歩開墾計画
- ウ. 百万町歩開墾計画 → 三世一身法 → 墾田永年私財法
- エ. 百万町歩開墾計画 → 墾田永年私財法 → 三世一身法
- オ. 墾田永年私財法 → 三世一身法 → 百万町歩開墾計画
- カ. 墾田永年私財法 → 百万町歩開墾計画 → 三世一身法

Ⅱ 次の(A)～(C)の各文の空欄(1)～(7)に入る適語を語群から選び、記号で答えよ。また、下線部についての問いに答えよ。

- (A) 11世紀半ば、①武士の力に目をつけた②白河天皇は、武士を登用し親政をおこなった。1086年に幼少の(1)天皇に位をゆずると、上皇として天皇を後見し、③院政がはじまった。院政は100年余り続いたが、次第に武士が貴族社会に進出した。中でも④平清盛は後白河上皇のもとで昇進をとげ、(2)にまで上りつめた。
- (B) 鎌倉時代の武家社会は、将軍と御家人との主従関係が基盤であったが、次第に北条氏が実権を握るようになった。⑤源実朝が暗殺される事件が起こると、後鳥羽上皇は(3)追討の兵をあげた。この戦いは幕府側の圧倒的勝利に終わり、これ以降、朝廷に対して幕府は優位に立った。⑥モンゴル襲来によって、幕府は非御家人をも動員する権利を獲得し、北条氏の権力はさらに拡大した。一方で御家人の困窮が深刻化し、1297年に幕府は(4)の徳政令を出したが、効果はあまり上がらなかった。
- (C) 室町時代には、3代将軍(5)が有力守護の勢力を抑えつつ、⑦日明貿易での利益を中心に幕府の全盛期を築いた。6代将軍(6)は恐怖政治を展開したため、有力守護の赤松満祐により殺害された。8代将軍足利義政の時代には、将軍家の家督争いに有力守護が介入し、応仁の乱が始まった。⑧この戦いでは軽装で機動力に富む(7)が活動した。

《語群》

- ア. 足利義教 イ. 足利義持 ウ. 足利義満 エ. 寿永 オ. 永仁 カ. 後三条 キ. 堀河
- ク. 北条義時 ケ. 北条時宗 コ. 太政大臣 サ. 征夷大將軍 シ. 悪党 ス. 足輕

問1 下線部①に関連して述べた文a・bの正誤の組み合わせとして正しいものをア～エの中から一つ選び、記号で答えよ。

- a 東国でおこった藤原純友の乱や、瀬戸内海海賊を率いた平将門の乱は、どちらも武士によって鎮圧された。
 - b 前九年合戦では、源義家が清原氏一族の内紛に介入し、清原清衡を助けて内紛を制圧した。
- ア. a-正 b-正 イ. a-正 b-誤 ウ. a-誤 b-正 エ. a-誤 b-誤

問2 下線部②について、白河天皇によって発願された寺院をア～エの中から一つ選び、記号で答えよ。

- ア. 最勝寺 イ. 成勝寺 ウ. 延勝寺 エ. 法勝寺

問3 下線部③について述べた文として誤っているものをア～エの中から一つ選び、記号で答えよ。

- ア. 富裕な受領や乳母の一族などが院近臣として上皇に仕えた。
- イ. 院序下文や院宣が政治に影響力をもった。
- ウ. 院の御所の護衛のため、滝口の武者が組織された。
- エ. 山法師と呼ばれた延暦寺僧兵による強訴が上皇を悩ませた。

問4 下線部④について述べた次の文中の空欄 a・b に適する語句の組み合わせとして最も適当なものをア～エの中から一つ選び、記号で答えよ。

平清盛は娘の徳子を (a) 天皇の中宮に入れ、その子を即位させ外戚として力をもった。また、日宋貿易での利益は平氏政権にとって重要な経済的基盤となっており、清盛によって (b) が修築され、瀬戸内海航路の安全がはかられた。

- ア. a - 二条 b - 十三湊 イ. a - 二条 b - 大輪田泊
- ウ. a - 高倉 b - 十三湊 エ. a - 高倉 b - 大輪田泊

問5 下線部⑤に関連して、鎌倉時代の社会の変動について述べた文として正しいものをア～エの中から一つ選び、記号で答えよ。

- ア. 月に6回開かれる六斎市が一般化した。
- イ. 畿内や西国では三毛作がはじまった。
- ウ. 問丸が商品の委託販売や運送をおこなった。
- エ. 金融業者である土倉・酒屋が多く現れた。

問6 下線部⑥について、源実朝の歌集をア～エの中から一つ選び、記号で答えよ。

- ア. 金槐和歌集 イ. 菟玖波集 ウ. 性霊集 エ. 梁塵秘抄

問7 下線部⑦に関連して、次の出来事の推移として正しいものをア～エの中から一つ選び、記号で答えよ。

- ア. 文永の役 → 博多湾沿岸に防塁築造 → 鎮西探題の設置 → 弘安の役
- イ. 文永の役 → 博多湾沿岸に防塁築造 → 弘安の役 → 鎮西探題の設置
- ウ. 博多湾沿岸に防塁築造 → 文永の役 → 鎮西探題の設置 → 弘安の役
- エ. 博多湾沿岸に防塁築造 → 文永の役 → 弘安の役 → 鎮西探題の設置

問8 下線部⑧に関連して、得宗専制政治の確立に関する次の文中の空欄 c・d に適する語句の組み合わせとして最も適当なものをア～エの中から一つ選び、記号で答えよ。

得宗の権力が拡大し、得宗の家臣である御内人と御家人との対立が激しくなった。そのような中、御内人の中心人物 (c) が有力御家人の安達泰盛を滅ぼす (d) が起こった。

- ア. c - 平頼綱 d - 宝治合戦 イ. c - 平頼綱 d - 霜月騒動
- ウ. c - 三浦泰村 d - 宝治合戦 エ. c - 三浦泰村 d - 霜月騒動

問9 下線部⑨について述べた文 a・b の正誤の組み合わせとして正しいものをア～エの中から一つ選び、記号で答えよ。

- a 遣明船は、明から交付された勘合を持参することが義務づけられた。
 - b 博多商人と結んだ大内氏は、寧波の乱で勝利すると貿易を独占した。
- ア. a - 正 b - 正 イ. a - 正 b - 誤 ウ. a - 誤 b - 正 エ. a - 誤 b - 誤

問10 下線部⑩の事件と同年に起こった一揆をア～エの中から一つ選び、記号で答えよ。

- ア. 山城の国一揆 イ. 正長の徳政一揆 ウ. 播磨の土一揆 エ. 嘉吉の徳政一揆

Ⅲ 次の(A)～(G)の各文の下線部には、それぞれ一カ所ずつ誤りがある。それぞれの文中から誤っている記号を指摘し、正しい語句に訂正せよ。

- (A) 織田信長は全国統一に乗り出すにあたり、天下布武の印章を用い、次々と敵対勢力を破っていった。守護代出身の有力な戦国大名である武田氏を長篠合戦で破ったが、家臣の明智光秀に背かれて滅んだ。信長の後継争いに勝利した豊臣秀吉は、後陽成天皇を聚楽第に招くなど、伝統的な権威を利用しつつ政治をおこなった。
- (B) 江戸幕府の職制は、政務を統括する老中、老中を補佐し旗本を監督する若年寄、寺社奉行・町奉行・勘定奉行の三奉行などがおかれた。京都には西国大名の監視や、京都町奉行とともに朝廷の統制をおこなう六波羅探題がおかれた。3代将軍徳川家光の時代には大名たちへの参勤交代が義務づけられた。
- (C) 徳川家康は対馬藩主の宗氏を通して朝鮮との講和を実現させ、己酉約条が結ばれた。琉球王国は、薩摩藩の支配下に入り、国王の代わりごとに幕府に対して慶賀使を派遣した。松前藩はアイヌとの交易を独占していたが、交易の中で不満を高めたアイヌ集団と対立し、シャクシャインの戦い以降、全面的にアイヌを服属させた。
- (D) 徳川家綱が4代将軍に就任する直前、兵学者由井正雪の乱がおけると、幕府は末期養子の禁止を緩和するなど、これまでの幕府政治を改めた。5代将軍徳川綱吉の時代には、側用人の保科正之が補佐し、「文武弓馬の道」から「文武忠孝」や「礼儀」を重んじる文治主義の政治へと転換した。
- (E) 老中田沼意次の時代には、民間の経済活動が重視され、株仲間が公認された。意次は蝦夷地の開発にも関心をもち、仙台藩医師の工藤平助の意見書『海国兵談』を取り入れ、最上徳内らを蝦夷地に派遣した。しかし息子の意知が旗本の佐野政言に殺される事件がおけると、意次の勢力は衰え、様々な政策も中止となった。
- (F) 19世紀前半は内憂外患の時代であった。1837年に大坂町奉行所の元与力だった大塩平八郎が、貧民救済を訴えて武装蜂起した。同年、アメリカ商船のフェートン号が浦賀沖に接近し、日本人漂流民を日本に送還しようとしたが、幕府が異国船打払令にもとづいてこれを撃退させるという事件がおこった。この事件について渡辺崋山は『慎機論』を書いて幕府を批判したため、翌年処罰された。
- (G) 13代将軍徳川家定の後継をめぐり、徳川慶喜を推す一橋派と、徳川慶福を推す南紀派は対立した。一橋派の井伊直弼は、反対派を安政の大獄で弾圧し、幕政を主導しようとしたが、水戸脱藩の志士らに暗殺された。この桜田門外の変ののち、老中安藤信正は公武合体政策をとり、孝明天皇の妹を将軍の妻に迎えた。

Ⅳ 次の史料A～Eの各史料をみて、各史料に関する問いに答えよ。

A 大日本帝国憲法

第五条 天皇は帝国議会の を以て立法権を行ふ。

第十一条 天皇は陸海軍を す。

第二十九条 日本臣民は 言論著作印行集会及結社の自由を有す。

第三十三条 帝国議会は 院衆議院の両院を以て成立す。

問1 Aが公布されたときの内閣総理大臣は誰か、ア～エの中から一つ選び、記号で答えよ。

ア. 伊藤博文 イ. 松方正義 ウ. 黒田清隆 エ. 大隈重信

問2 A中の空欄 ・ に入る語句の組み合わせとして正しいものをア～エの中から一つ選び、記号で答えよ。

ア. a - 承認 b - 永久不可侵に イ. a - 承認 b - 法律の範囲内に
ウ. a - 協賛 b - 永久不可侵に エ. a - 協賛 b - 法律の範囲内に

問3 A中の空欄 X Y に入る語句の組み合わせとして正しいものをア～エの中から一つ選び、記号で答えよ。

- ア. X - 統帥 Y - 華族 イ. X - 統帥 Y - 貴族
ウ. X - 総攬 Y - 華族 エ. X - 総攬 Y - 貴族

B 幸徳秋水「自由党を祭る文」

歳は庚子^(注1)に在り八月某夜、………^①嗚呼自由党死す矣。而して其光榮ある歴史は全く抹殺されぬ。………汝自由党の起るや、政府の^(注2)抑圧^②は益々甚しく迫害愈々急也。言論は箝制せられたり。集会は禁止せられたり、請願は防止せられたり。………

注1：1900年 注2：抑圧と同じ

問4 下線部①について、自由党が結成された年をア～エの中から一つ選び、記号で答えよ。

- ア. 1873年 イ. 1877年 ウ. 1881年 エ. 1885年

問5 Bが出されるきっかけとなった立憲政友会が結成されるにあたり、旧自由党が総裁にむかえた人物は誰か、ア～エの中から一つ選び、記号で答えよ。

- ア. 板垣退助 イ. 大隈重信 ウ. 伊藤博文 エ. 山県有朋

問6 下線部②に当てはまらないものをア～エの中から一つ選び、記号で答えよ。

- ア. 保安条例 イ. 讒謗律^{ざんぼうりつ} ウ. 新聞紙条例 エ. 工場法

問7 Bを発表した幸徳秋水は、1910年に社会主義者が大勢検挙されるなかで逮捕され、処刑された。この事件を何というか、ア～エの中から一つ選び、記号で答えよ。

- ア. 大逆事件 イ. 三・一五事件 ウ. 虎の門事件 エ. 亀戸事件

C ポーツマス条約

第二条 ロシア帝国は、日本国が^①韓国に於て政事上、軍事上及経済上の卓絶なる利益を有することを承認し、日本帝国政府が韓国に於て必要と認むる指導、保護及監理の措置を執るにあたり之を阻害し又は之に干渉せざることを約す。………

第六条 ロシア帝国政府は、 X 旅順口間の鉄道及其の一切の支線並同地方に於て之に附属する一切の権利。………を清国政府の承諾を以て日本帝国政府に移転譲渡すべきことを約す。………

問8 下線部①について、日本が韓国の植民地化をすすめていく過程の出来事Ⅰ～Ⅲを年代順に並べたものをア～カの中から一つ選び、記号で答えよ。

- Ⅰ. 朝鮮総督府が設置された。
Ⅱ. 日本が朝鮮の外交権を掌握した。
Ⅲ. 伊藤博文が安重根に殺害された。
- ア. Ⅰ - Ⅱ - Ⅲ イ. Ⅰ - Ⅲ - Ⅱ ウ. Ⅱ - Ⅰ - Ⅲ
エ. Ⅱ - Ⅲ - Ⅰ オ. Ⅲ - Ⅰ - Ⅱ カ. Ⅲ - Ⅱ - Ⅰ

問9 C中の空欄 X に入る語句として正しいものをア～エの中から一つ選び、記号で答えよ。

- ア. ハルビン イ. 長春 ウ. 大連 エ. 北京

問10 ポーツマス条約に対する国内の反応について次の文を読み、文中の空欄 ・ に適する語句の組み合わせとして正しいものをア～エの中から一つ選び、記号で答えよ。

ポーツマス条約は、ロシアから日本への がなかったため、国民の不満は高まり、 焼打ち事件がおこった。

- ア. a - 賠償金 b - 上野 イ. a - 賠償金 b - 日比谷
ウ. a - 領土の割譲 b - 上野 エ. a - 領土の割譲 b - 日比谷

D 治安維持法

第一条 を変革し、又は 制度を否認することを目的として結社を組織し、又は情を知りて之に加入したる者は、十年以下の懲役又は禁固に処す。

問11 D中の空欄 ・ に入る語句の組み合わせとして正しいものをア～エの中から一つ選び、記号で答えよ。

- ア. X - 体制 Y - 共有財産 イ. X - 体制 Y - 私有財産
ウ. X - 国体 Y - 共有財産 エ. X - 国体 Y - 私有財産

問12 Dの法律及び、次の a ・ b の公布・成立について、古いものから年代順に正しく配列したものをア～エの中から一つ選び、記号で答えよ。

- a : 治安警察法 b : 鉄道国有法
ア. 治安維持法 → a → b イ. a → 治安維持法 → b
ウ. a → b → 治安維持法 エ. b → a → 治安維持法

E 日独防共協定

大日本帝国政府およびドイツ国政府は 「インターナショナル」(所謂「コミンテルン」) の目的が其の執り得るあらゆる手段に依る既存国家の破壊および暴圧に在ることを認め、……世界平和全般を脅すものなることを確信し、
 主義的破壊に対する防衛の為協力せんことを欲し左の通り協定せり。

問13 E中の空欄 に入る語句として正しいものをア～エの中から一つ選び、記号で答えよ。

- ア. 共和 イ. 全体 ウ. 共産 エ. 国家

問14 Eの調印及び、次の a ・ b の出来事について、古いものから年代順に正しく配列したものをア～エの中から一つ選び、記号で答えよ。

- a : 日本の国際連盟脱退 b : 柳条湖事件
ア. 日独防共協定 → a → b イ. a → 日独防共協定 → b
ウ. a → b → 日独防共協定 エ. b → a → 日独防共協定